

GL アクティブ（国内研修） 実施講座名『千葉大学 SGH 研修』

- 1 目的 多文化共生等のグローバルな問題に関連する分野を研究している研究室を訪問し、課題研究について指導助言を受ける。
- 2 日時 10月3日（月） 午後1時～午後4時
- 3 参加生徒 6名（1，2年生）
- 4 場所 千葉大学西千葉キャンパス 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

5 内容 講師 千葉大学国際教養学部 助教 ガイタニディス ヤニス先生

各自が設定した課題研究のテーマについて発表した後、テーマを具体化していくために、ヤニス先生の方からタスクが与えられた。そのタスクとは

①今回の研究における理想的な答えから逆算して質問を考えること。

質問を考えるにあたって、質問には描写的、探索的、評価的、予想的、説明的の6種類があるとの説明があった。

②研究課題の要素を1個ずつ検討すること。

③研究課題の要素を分解し、分類化すること。

④課題の入れ子階層（一次的、二次的、三次的質問）を作ること。

であった。

それらのタスクを通じて、課題をより具体的に設定することが出来た生徒もいた。その場では課題を具体的に出来なかった生徒も、自分達が研究したい課題は何か自問する貴重な機会になったと思われる。教員にとっても課題研究指導法の参考になった。